

第2回 奈良県のエネルギー政策に関する意識調査

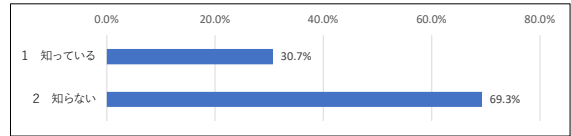
○実施期間 令和6年7月24日～7月30日
○アンケート会員数 307名 回答者数 267名(87.0%)

○2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出を実質ゼロにする脱炭素社会の構築を目指すため、今回、令和3年度に行ったアンケートと同内容である再生可能エネルギーや、水素を燃料とした次世代自動車等に関する意識調査を行い、現在のニーズや意識の変化を把握し、今後の施策を検討するための参考指標として活用します。

(グラフ内スペースの関係から、選択肢の全文が表示されないことがあります。左の表でご確認ください。)

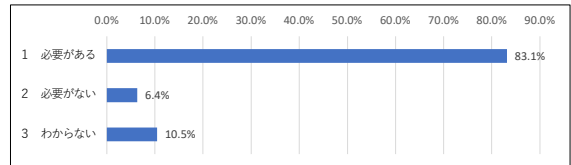
問1 奈良県では、2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出を実質ゼロにする脱炭素社会の構築を目指していることを知っていますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 知っている	82	267	30.7%
2 知らない	185		69.3%
総計	267		100.0%



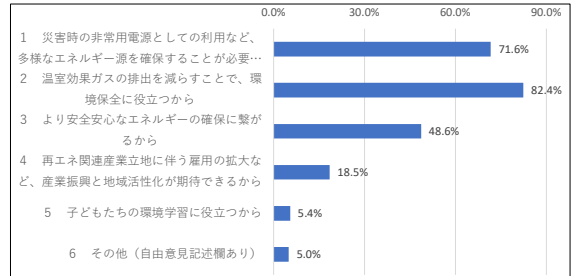
問2 奈良県で「再生可能エネルギー」(以下「再エネ」といいます)の導入を進めていく必要があると思いますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 必要がある	222	267	83.1%
2 必要がない	17		6.4%
3 わからない	28		10.5%
総計	267		100.0%



問3 問2で「1 必要がある」を選択された方にお聞きします。県で「再エネ」の導入を進めていく必要があると思う理由は何ですか。当てはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 災害時の非常用電源としての利用など、多様なエネルギー源を確保することが必要だから	159	222	71.6%
2 温室効果ガスの排出を減らすことで、環境保全に役立つから	183		82.4%
3 より安全安心なエネルギーの確保に繋がるから	108		48.6%
4 再エネ関連産業立地に伴う雇用の拡大など、産業振興と地域活性化が期待できるから	41		18.5%
5 子どもたちの環境学習に役立つから	12		5.4%
6 その他(自由意見記述欄あり)	11		5.0%
総計	514		

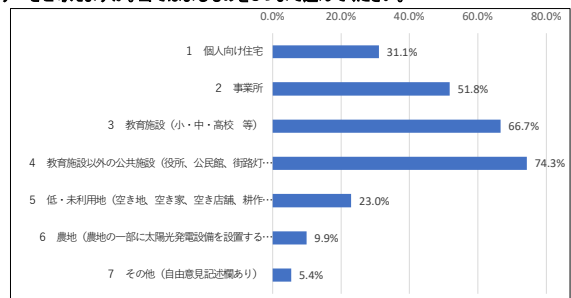


自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

- ・県独自ですることには限界があると思うので、近隣府県や国と協力できるような体制づくりが不可欠だと思うから
- ・五條地区の大規模ソーラーは必ず必要だから
- ・原子力発電に頼らずに社会生活を営む必要があるから
- ※地震や地面崩壊の可能性の高い日本で原子力発電に多くの電気を頼るのは危険
- ・原子力発電所は無くしていかなければ、地震があった時に危険があるが、その一方で火力発電所も無くしていかないと地球温暖化が止まらない。その2つに頼らなくていいように早急に対策していかないといけないと思うから
- ・災害時に関わらず、持続可能なエネルギーの利用が社会の維持に重要であるから
- ・森林が豊富で、バイオマスなどの活用も期待できるから
- ・やらなきゃいけない時代になったから
- ・世界基準だから
- ・エネルギー自給率向上 供給量や価格の変動への対策のために必要だから

問4 問2で「1 必要がある」を選択された方にお聞きします。どのような場所に、「再エネ」設備を優先的に導入すべきと考えますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 個人向け住宅	69	222	31.1%
2 事業所	115		51.8%
3 教育施設(小・中・高校等)	148		66.7%
4 教育施設以外の公共施設(役所、公民館、街路灯等)	165		74.3%
5 低・未利用地(空き地、空き家、空き店舗、耕作放棄地など)	51		23.0%
6 農地(農地の一部に太陽光発電設備を設置するソーラーシェアリング等)	22		9.9%
7 その他(自由意見記述欄あり)	12		5.4%
総計	582		

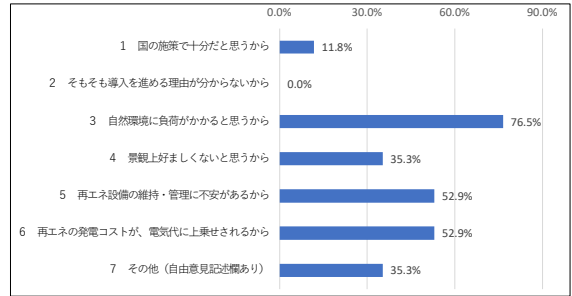


自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

- ・既存施設の設置可能スペースに導入すればよい(新規に作る必要はない、新設はエコでない)
- ・設置出来るところには全て早急に実施してほしい。奈良県が他の県の見本になるよう頑張って動いて欲しい。その際クレームや反対のたくさんあると思うので臨機応変に対応できるよう特別チームを組んで丁寧に説得してほしい。
- ・山の斜面
- ・地熱発電が可能な温泉地など
- ・むやみな開発による太陽光発電設備などの設置は推奨せず、ZEB・ZEH等複合的に再エネ可能な手法であれば良いと思う
- ・ゴミ焼却炉を利用した火力発電
- ・現在農地に設置のソーラーは、高さが低く朝日や夕陽が直接反射して運転中に交差点で周囲が見えなくなる瞬間があり危険なこともあった
- ・大型商用施設
- ・水路や発電設備が無いダム(水力)山林や製材所に近い地域(バイオマス)
- ・公共施設全般

問5 問2で「2 必要がない」を選択された方にお聞きします。県で「再エネ」の導入を進めていく必要はないと思う理由は何ですか。当てはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 国の施策で十分だと思うから	2	17	11.8%
2 そもそも導入を進める理由が分からないから	0		0.0%
3 自然環境に負荷がかかると思うから	13		76.5%
4 景観上好ましくないと思うから	6		35.3%
5 再エネ設備の維持・管理に不安があるから	9		52.9%
6 再エネの発電コストが、電気代に上乗せされるから	9		52.9%
7 その他(自由意見記述欄あり)	6		35.3%
総計	45		

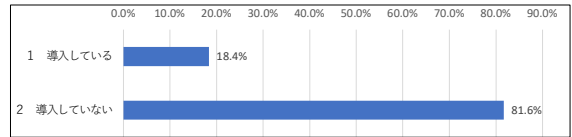


自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

- ・他国の利益になり、国益にかなわないから
- ・五條市でのメガソーラー計画の報道を見る限り、住民や環境負荷等に配慮された再エネ政策が行われているとは思えず、現在行われている脱炭素の取り組みがあるかどうかとも疑問だから
- ・発展途上の技術なので技術の発展をまつべきだと思うから
- ・行政は個人向けの補助や景観規制のようなところで頑張してほしいから
- ・五條の太陽光は不要。防災拠点として進めるべきだと思うから
- ・太陽光はパネル設置に環境破壊の為不要だと思うから

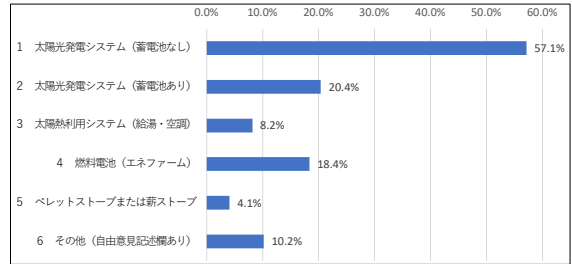
問6 あなたのご家庭では「再エネ」等を利用した設備を導入していますか。(太陽光発電、太陽熱利用、燃料電池、ペレットストーブ等)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 導入している	49	267	18.4%
2 導入していない	218		81.6%
総計	267		100.0%



問7 問6で「1 導入している」を選択された方にお聞きします。ご家庭に導入している「再エネ」等の設備はどれですか。当てはまるものを全て選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 太陽光発電システム(蓄電池なし)	28	49	57.1%
2 太陽光発電システム(蓄電池あり)	10		20.4%
3 太陽熱利用システム(給湯・空調)	4		8.2%
4 燃料電池(エネファーム)	9		18.4%
5 ペレットストーブまたは薪ストーブ	2		4.1%
6 その他(自由意見記述欄あり)	5		10.2%
総計	58		

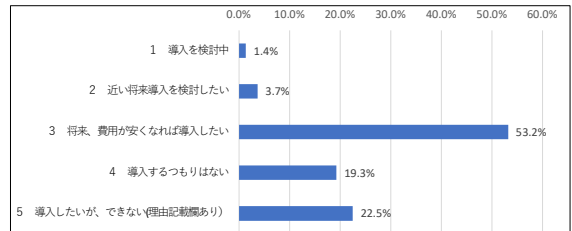


自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

- ・エコウィル
- ・太陽光発電のプレートが屋根についているが蓄電等はアパートのため不明
- ・雨水貯留タンク

問8 問6で「2 導入していない」を選択された方にお聞きします。今後、ご家庭に「再エネ」設備を導入したいと思いますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 導入を検討中	3	218	1.4%
2 近い将来導入を検討したい	8		3.7%
3 将来、費用が安くなれば導入したい	116		53.2%
4 導入するつもりはない	42		19.3%
5 導入したいが、できない(理由記述欄あり)	49		22.5%
総計	218		

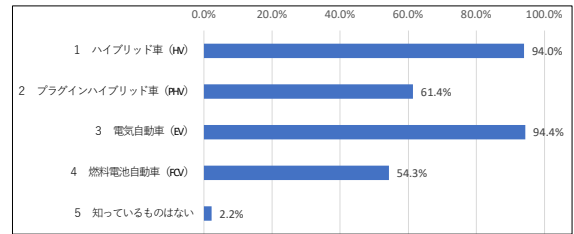


自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

- ・太陽光パネルを設置しようと思積もりをしたことがあるが、屋根の形状からあまりお得ではないと言われたから
- ・マンション、賃貸住宅だから
- ・活用できるエネルギー源が家庭にはないから。太陽光発電は設備の生産から廃棄までトータルで考えて再エネとは呼べないと思うから。
- ・自宅を新築する際に屋根を外壁に太陽光発電設備を検討した。しかし、近隣への影響、屋根の付加工事、数年後に設備を交換・廃棄する時の費用等を考えると費用対効果が薄すぎると感じたから。
- ・至近のお宅のソーラーパネル灼熱により暑さが半端なく、我が家だけでなく体調不良を訴えるご近所さんも多く難しい。住宅密集地のため、なかなか着手しにくい。
- ・費用や設備も永久でないことから、今は高齢となり考えていない
- ・当初屋根の瓦を吹き替えたときに、当時は屋根の形状から太陽光の設置はむづかしいといわれた。
- ・太陽光発電のパネルの廃棄及び再利用が構築(安価で)されたら導入を考えたい。
- ・家庭に導入できる再エネ設備の多くは蓄電機能を備えているが、蓄電池の廃棄をなくす(ほとんどをリサイクルできる)技術と市場の流れが確立しなければ、再エネを進めることがむしろ環境悪化に繋がると思うから。この課題が解決されれば積極的に導入したいと考えている。
- ・ソーラーパネルは、燃やすことができないので将来的に埋めるしかない聞いた。それで埋めるための土地を埋め立てたり、木を伐採したりしては本来転倒かと思うから
- ・改築・リノベと併せて工事しないと効果がないと思うから
- ・金銭的に難しいから
- ・以前 太陽光温水器を設置していたが、落下する事故を懸念して撤去し、同様のものを屋根上に設置することは考えていないから
- ・家屋が古いうえ敷地に余裕がないから
- ・手間がかかりそうなのでなかなか実行できないように思う
- ・築50年の家であり、建て替え時に検討する予定だから

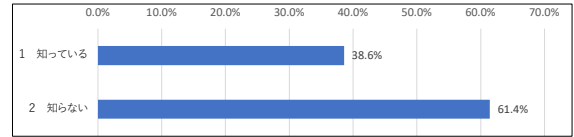
問9 電動車の中で、知っている自動車はありますか。あてはまるものを全て選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 ハイブリッド車 (HV)	251	267	94.0%
2 プラグインハイブリッド車 (PHV)	164		61.4%
3 電気自動車 (EV)	252		94.4%
4 燃料電池自動車 (FCV)	145		54.3%
5 知っているものはない	6		2.2%
総計	818		



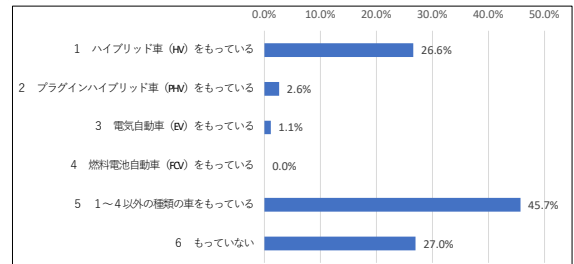
問10 燃料電池自動車 (FCV) に水素を供給できる水素充電スタンド (水素ステーション) が、奈良県にも設置されていることを知っていますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 知っている	103	267	38.6%
2 知らない	164		61.4%
総計	267		100.0%



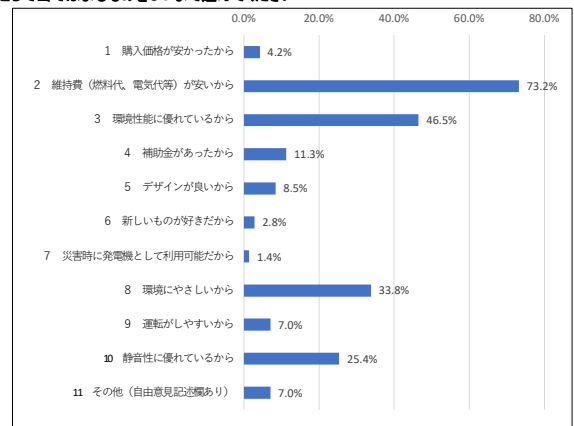
問11 現在お車をお持ちですか。当てはまるものを全て選んでください。(同居家族の方がお持ちの場合も含めます)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 ハイブリッド車 (HV) をもっている	71	267	26.6%
2 プラグインハイブリッド車 (PHV) をもっている	7		2.6%
3 電気自動車 (EV) をもっている	3		1.1%
4 燃料電池自動車 (FCV) をもっている	0		0.0%
5 1~4以外の種類の車をもっている	122		45.7%
6 もっていない	72		27.0%
総計	275		



問12 問11で「1 ハイブリッド車 (HV) をもっている」を選択された方にお聞きします。上記のお車を選択した理由として当てはまるものを3つまで選んでください

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 購入価格が安かったから	3	71	4.2%
2 維持費 (燃料代、電気代等) が安いから	52		73.2%
3 環境性能に優れているから	33		46.5%
4 補助金があったから	8		11.3%
5 デザインが良いから	6		8.5%
6 新しいものが好きだから	2		2.8%
7 災害時に発電機として利用可能だから	1		1.4%
8 環境にやさしいから	24		33.8%
9 運転がしやすいから	5		7.0%
10 静音性に優れているから	18		25.4%
11 その他 (自由意見記述欄あり)	5		7.0%
総計	157		

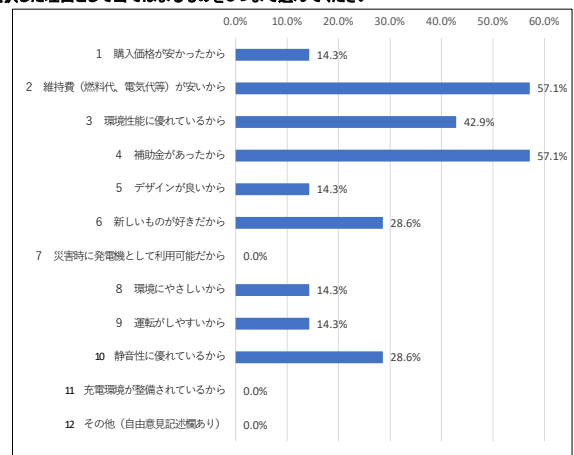


自由意見記述欄に記載された意見 (抜粋)

・ディーラーにすすめられたから
 ・他に良い車なかったから
 ・6人乗りを探していて、結果的にハイブリッド車になったから
 ・ガソリン車は環境によくない、という意識がある。また、将来的に、ガソリン車を売却することができなくなる可能性があるから。

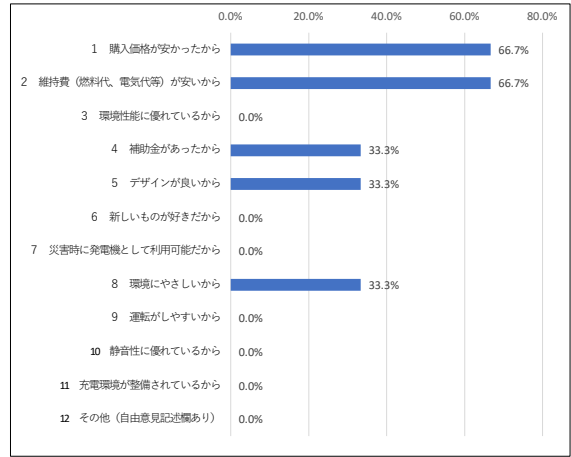
問13 問11で「2 プラグインハイブリッド車 (PHV) をもっている」を選択された方にお聞きします。上記のお車を選択した理由として当てはまるものを3つまで選んでください

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 購入価格が安かったから	1	7	14.3%
2 維持費 (燃料代、電気代等) が安いから	4		57.1%
3 環境性能に優れているから	3		42.9%
4 補助金があったから	4		57.1%
5 デザインが良いから	1		14.3%
6 新しいものが好きだから	2		28.6%
7 災害時に発電機として利用可能だから	0		0.0%
8 環境にやさしいから	1		14.3%
9 運転がしやすいから	1		14.3%
10 静音性に優れているから	2		28.6%
11 充電環境が整備されているから	0		0.0%
12 その他 (自由意見記述欄あり)	0		0.0%
総計	19		



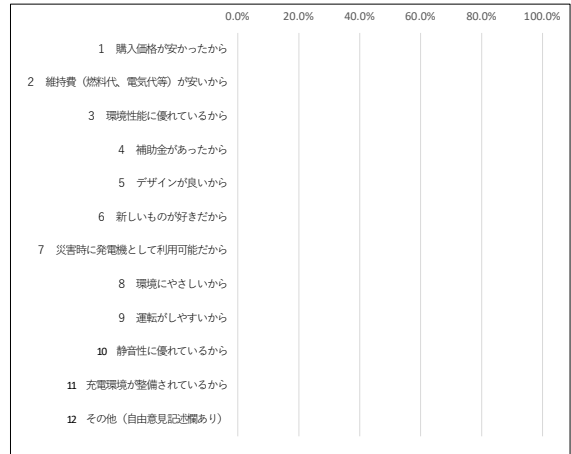
問14 問11で「3 電気自動車(EV)をもっている」を選択された方にお聞きします。上記のお車を選択した理由として当てはまるものを3つまで選んでください

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 購入価格が安かったから	2	3	66.7%
2 維持費(燃料代、電気代等)が安いから	2		66.7%
3 環境性能に優れているから	0		0.0%
4 補助金があったから	1		33.3%
5 デザインが良いから	1		33.3%
6 新しいものが好きだから	0		0.0%
7 災害時に発電機として利用可能だから	0		0.0%
8 環境にやさしいから	1		33.3%
9 運転がしやすいから	0		0.0%
10 静音性に優れているから	0		0.0%
11 充電環境が整備されているから	0		0.0%
12 その他(自由意見記述欄あり)	0		0.0%
総計	7		



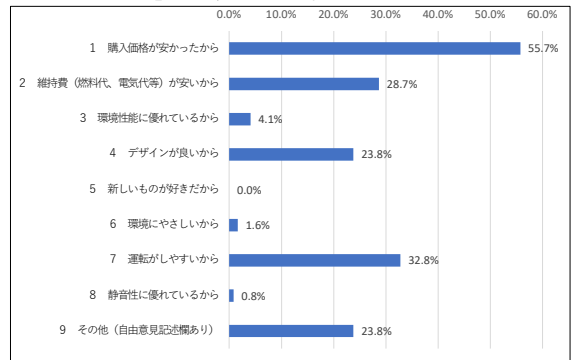
問15 問11で「4 燃料電池自動車(FCV)をもっている」を選択された方にお聞きします。上記のお車を選択した理由として当てはまるものを3つまで選んでください

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 購入価格が安かったから	0	0	
2 維持費(燃料代、電気代等)が安いから	0		
3 環境性能に優れているから	0		
4 補助金があったから	0		
5 デザインが良いから	0		
6 新しいものが好きだから	0		
7 災害時に発電機として利用可能だから	0		
8 環境にやさしいから	0		
9 運転がしやすいから	0		
10 静音性に優れているから	0		
11 充電環境が整備されているから	0		
12 その他(自由意見記述欄あり)	0		
総計	0		



問16 問11で「5 1~4以外の種類の車をもっている」を選択された方にお聞きします。上記のお車を選択した理由として当てはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 購入価格が安かったから	68	122	55.7%
2 維持費(燃料代、電気代等)が安いから	35		28.7%
3 環境性能に優れているから	5		4.1%
4 デザインが良いから	29		23.8%
5 新しいものが好きだから	0		0.0%
6 環境にやさしいから	2		1.6%
7 運転がしやすいから	40		32.8%
8 静音性に優れているから	1		0.8%
9 その他(自由意見記述欄あり)	29		23.8%
総計	209		

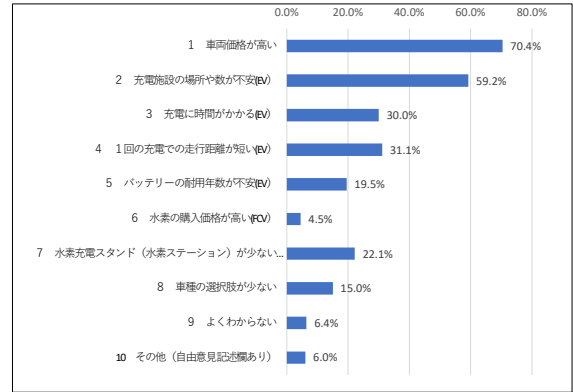


自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

- ・モーターやエンジンの保ちがガソリン車のほうが良いため、トータルして長く乗れると思ったから
- ・現在は現行車に対応が取れているから
- ・車重が軽いので道路への負担が少ないから
- ・7人乗りだから
- ・航続距離が短い上に充電設備等補給インフラが整っていないから
- ・ガソリン車の場合、燃料の補給の場所が沢山あるから
- ・マニュアルミッション車だから
- ・今から16年前のガソリン車を乗り続けているから(買い替える余裕資金はなし)
- ・まだ出回って何年も経っていないので、どんな問題が出てくるか分からないから
- ・数年前に購入したものに乗り続けており、当時はそれほど、いわゆるエコカーへの関心が世間一般的に高くなかったから
- ・ハイブリッド車や電気自動車など欲しかったがまだまだ充電スタンドが少なく心配だから
- ・今から20数年前に購入したから
- ・現時点では未だガソリン車の方が総合的に環境面で良いと思っているから
- ・仕事でも使うので、作業道具や荷物を高さを気にせず沢山積めるVANが欲しかったから
- ・総合的に考えて、マイルドハイブリッド車を選択しました
- ・小さな欧州車が好きだという理由で、1000ccのガソリン車を使用していますが、こういう選択もこれで最後かなと思っている。今後は環境性能重視で選ばれるを得なくなると思う。
- ・当時の運転支援システムの最先端適応車だったから
- ・電気自動車も考慮したが価格が高かったから
- ・日常的にも災害時にも一度の給油で長距離を走れるガソリン車に魅力を感じるから
- ・家族が増えたので大きさと使い勝手なども含めて選んだから
- ・ディーゼル車で、食用油の再生油を利用したいが、普及していないのは残念。
- ・まだ電気やハイブリッド何がいいかわからなかったから
- ・当時その車種にはハイブリッド車がなかったから

問17 EV・FCVの普及が進んでいない理由として考えられるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 車両価格が高い	188	267	70.4%
2 充電施設の場所や数が不安(EV)	158		59.2%
3 充電にかかる時間がかかる(EV)	80		30.0%
4 1回の充電での走行距離が短い(EV)	83		31.1%
5 バッテリーの耐用年数が不安(EV)	52		19.5%
6 水素の購入価格が高い(FCV)	12		4.5%
7 水素充電スタンド(水素ステーション)が少ない(FCV)	59		22.1%
8 車種の実績が少ない	40		15.0%
9 よくわからない	17		6.4%
10 その他(自由意見記述欄あり)	16		6.0%
総計	705		

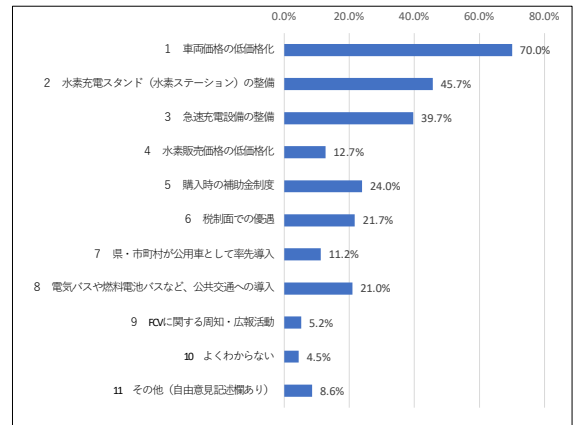


自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

- ・環境に悪いから
- ・水素ステーションの安全性が確保できていないから
- ・バッテリーの経年劣化があるから
- ・上記選択1~8すべてが当てはまる
- ・電気や水素を燃料にして走る車にまだまだ馴染みがないから。環境に良いということは理解しているが、EV・FCVに対する知識が全く無いので選択肢として頭に浮かばない。
- ・将来的に、バッテリーの廃棄等の環境問題の懸念があるから
- ・事故時の水素による被害拡大のリスクが大きいから
- ・どちらもインフラの整備が十分でないから。水素は、化石燃料が原料では意味が無いように思う。
- ・冬など寒い時期はエンジンをあたためるのに電気を沢山使う為、実用性に欠けると思うから

問18 EV・FCVを普及させるには、どのような方法が有効であると思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 車両価格の低価格化	187	267	70.0%
2 水素充電スタンド(水素ステーション)の整備	122		45.7%
3 急速充電設備の整備	106		39.7%
4 水素販売価格の低価格化	34		12.7%
5 購入時の補助金制度	64		24.0%
6 税制面での優遇	58		21.7%
7 県・市町村が公用車として率先導入	30		11.2%
8 電気バスや燃料電池バスなど、公共交通への導入	56		21.0%
9 FCVに関する周知・広報活動	14		5.2%
10 よくわからない	12		4.5%
11 その他(自由意見記述欄あり)	23		8.6%
総計	706		



自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

- ・個人の所有する車を減らせれば良い。公共交通機関が高額なことが課題
- ・EVに関しては充電時間の短縮化と航続距離を長くすることが必要
- ・過疎地域の出身のため、山間部のようなガソリンスタンドが少ない地域に、電気系ともなるとなかなか設置場所がわからない気がする。
- ・日本では地震や津波、豪雪などの被害の恐れがあるため電気系統の自動車は向いてないと思う。
- ・売却時のリセール
- ・もっと国が推進しないと進まないと思う
- ・EVやFCVを日常生活の中で身近に感じられる工夫。個人個人に負担が少なくEVやFCVを身近に体験できるのが重要。
- ・持続可能なシステムの制度設計が必要と考える。バッテリーのリサイクルのシステムなど。
- ・ガソリン給油と同等の手軽さの実現と化石燃料以外による燃料電池確保。
- ・バッテリーの大容量化及び信頼性向上
- ・使うことのメリットのみでなく、使った後もメリットがある仕組み(資源が循環する仕組み)の確立
- ・本当に環境に優しいということが、具体的に証明される事。
- ・災害時のバッテリーとしても活用出来るが、転用のアダプターも高価であった(日産のもの)。今後、自動車の生産台数が減少するとされるなか、安全で低価格な車種や資源の開発を望む。